

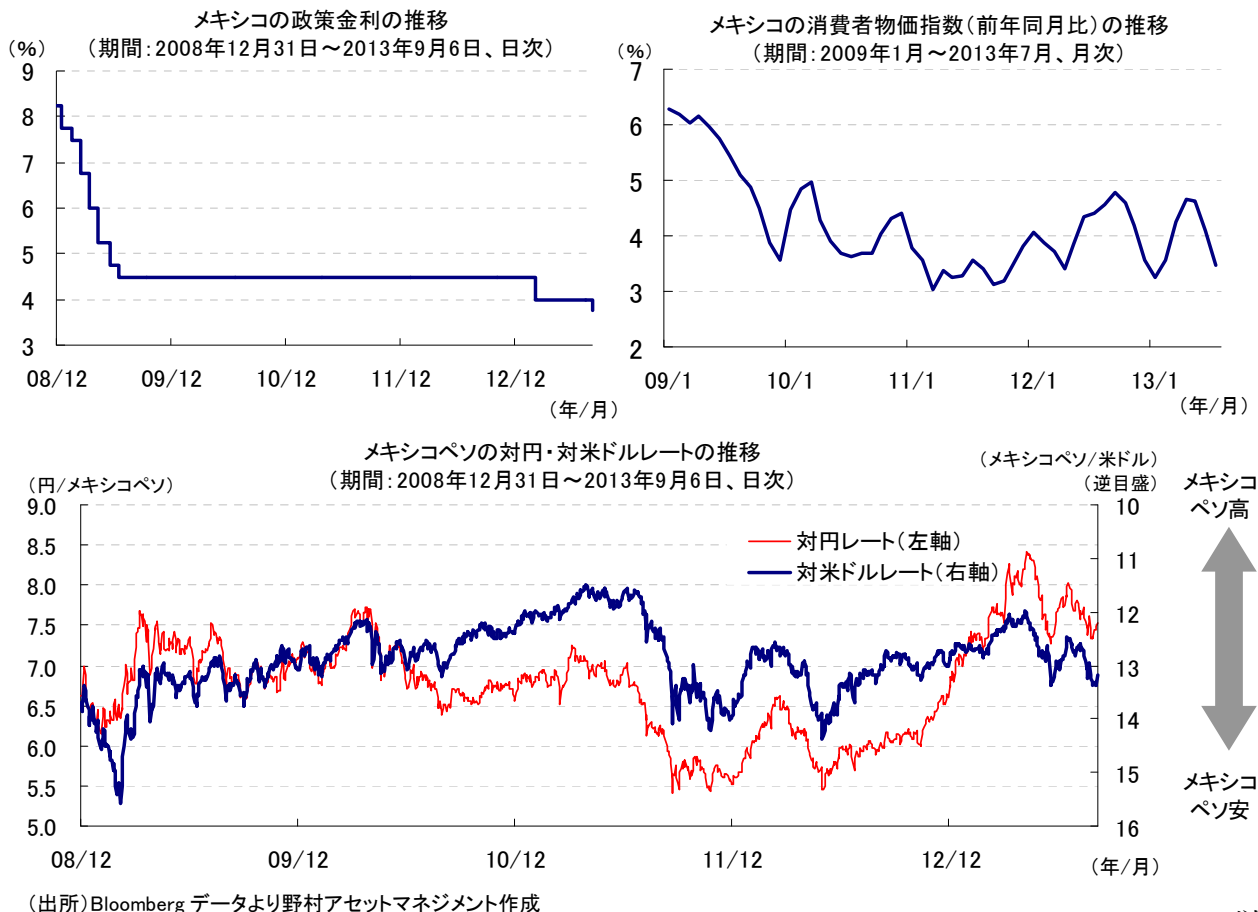
9月6日発表のメキシコの利下げについて

2013年9月6日、メキシコ中央銀行は金融政策決定会合において、政策金利であるオフィシャル・オーバーナイト・レートを0.25%引き下げ、年率3.75%とすることを決定しました。市場の大半は据え置きを予想していました。利下げは2013年3月以来で、過去最低の金利水準を更新しました。

利下げの背景には、国内経済成長の鈍化とインフレの低下が挙げられます。声明では、4-6月期において国内経済成長の著しい鈍化が見られたことを指摘し、この状況は当面続くとしています。また7月のインフレ率は5ヵ月ぶりに4%を下回り、同中銀の目標レンジである2~4%の範囲に収まっています。

一方、市場では、資本流出懸念により利上げを迫られている国が多い中で、利下げ余地があることを好意的に受け止める声もあります。同国輸出の大部分が米国向けであり、足元では米国経済が相対的に堅調であることから、今後、同国経済への波及効果が見込まれています。

9月6日の外国為替市場では、金融政策発表後にメキシコペソが上昇し、対円で前日比0.7%、対米ドルで同1.7%のメキシコペソ高となりました。次回の金融政策決定会合は2013年10月25日の予定です。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。